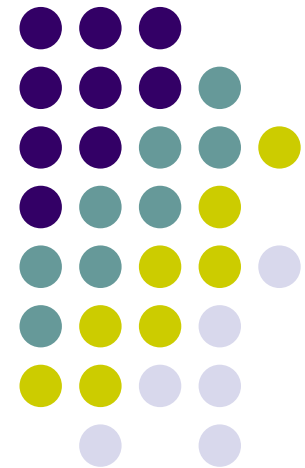


平成28年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、雇用環境の好転、企業収益の改善など景気は穏やかながら回復の兆しを見せておりますが、中国その他の新興国の景気減速や原油・資源価格の下落等により、依然として国内経済の先行きは不透明な状況が続いております。
- 当業界におきましては、全国段ボール生産量は前期比102.2%となりました。当社の主原料であります原紙価格は横ばいでありましたが、段ボール製品価格につきましては、軟調に推移しました。
- このような状況下において、当社は前々事業年度にコルゲート部門を中心に大幅な設備投資を行いました。その効果が当事業年度にも引き続き表れ、生産性向上及びロスの削減が顕著に見られ、また外部シート販売に力をいれたことにより、業績の概要は次のとおりになりました。
- 生産量につきましては、段ボールシート68百万m²(前期比7.0%増)、段ボールケース40百万m²(前期比2.9%増)となりました。
- 売上高は5,220百万円(前期比3.8%増)となりました。利益面におきましては、原油価格の値下げや段ボール製品の数量が増えたことにより、経常利益300百万円(前期比12.2%増)となり、当期純利益173百万円(前期比18.6%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。



業績概要①

売上高:前期比3.8%増 経常利益:前期比12.2%増 当期純利益:前期比18.6%増

(単位:百万円)

	当期 (平成28年3月期)	前期 (平成27年3月期)	前期比率
売上高	5,220	5,028	3.8%
営業利益	297	258	15.1%
経常利益	300	267	12.2%
当期純利益	173	145	18.6%
1株当たり当期純利益金額(円)	35.97	30.33	

業績概要②



総資産の主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものであります。
(自己資本比率67.5%)

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成28年3月末)	前期末 (平成27年3月末)
流動資産	4,450,926	4,250,855
現金及び預金	2,898,093	2,734,686
受取手形	535,903	497,094
売掛金	726,046	727,672
たな卸資産	244,313	241,601
その他流動資産	46,568	49,801
固定資産	2,702,147	2,843,477
有形固定資産	2,356,160	2,493,872
無形固定資産	18,335	16,551
投資その他の資産	327,652	333,054
資産合計	7,153,073	7,094,332

(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成28年3月末)	前期末 (平成27年3月末)
流動負債	1,550,892	1,546,813
支払手形	980,738	971,419
買掛金	226,736	224,887
未払法人税等	88,907	12,120
その他の流動負債	254,508	338,386
固定負債	770,643	814,573
退職給付引当金	169,970	173,026
役員退職慰労引当金	391,271	381,140
その他	209,401	260,405
負債合計	2,321,535	2,361,386
純資産合計	4,831,538	4,732,946
負債・純資産合計	7,153,073	7,094,332



業績概要③

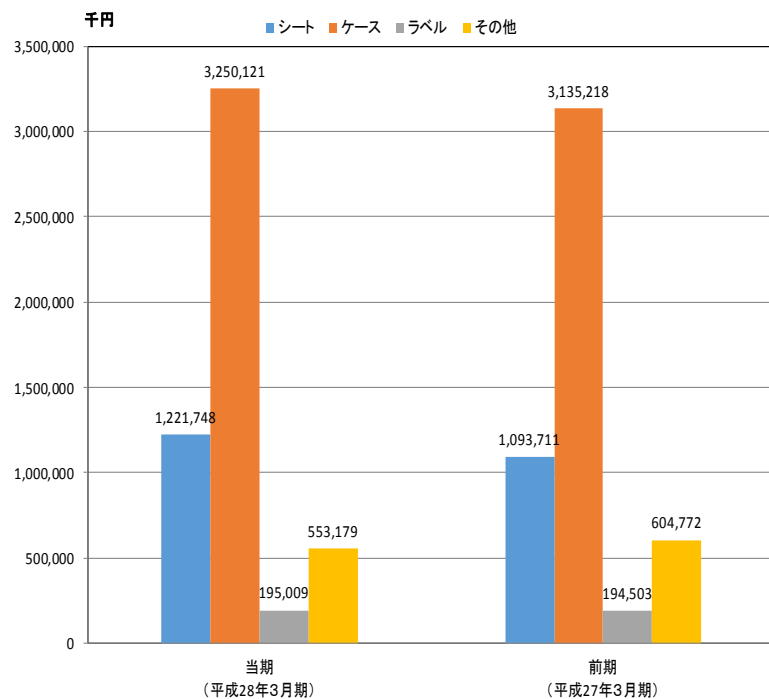
(単位:千円)

	当期 (平成28年3月期)	前期 (平成27年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	344,415	614,904
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 58,500	▲ 479,015
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 122,514	▲ 97,727
増減額(減少:▲)	163,400	38,162
現金及び現金同等物の 期首残高	2,705,445	2,667,283
現金及び現金同等物の 期末残高	2,868,846	2,705,445

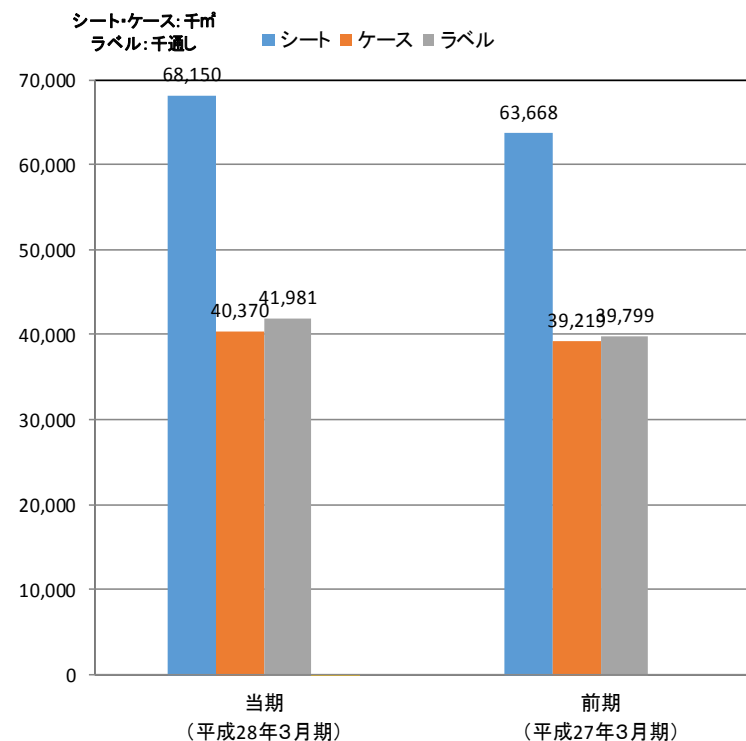


品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・ラベルは売上増加となり、
その他は売上減少となりました。



シート・ケース・ラベルともに生産増加となりました。





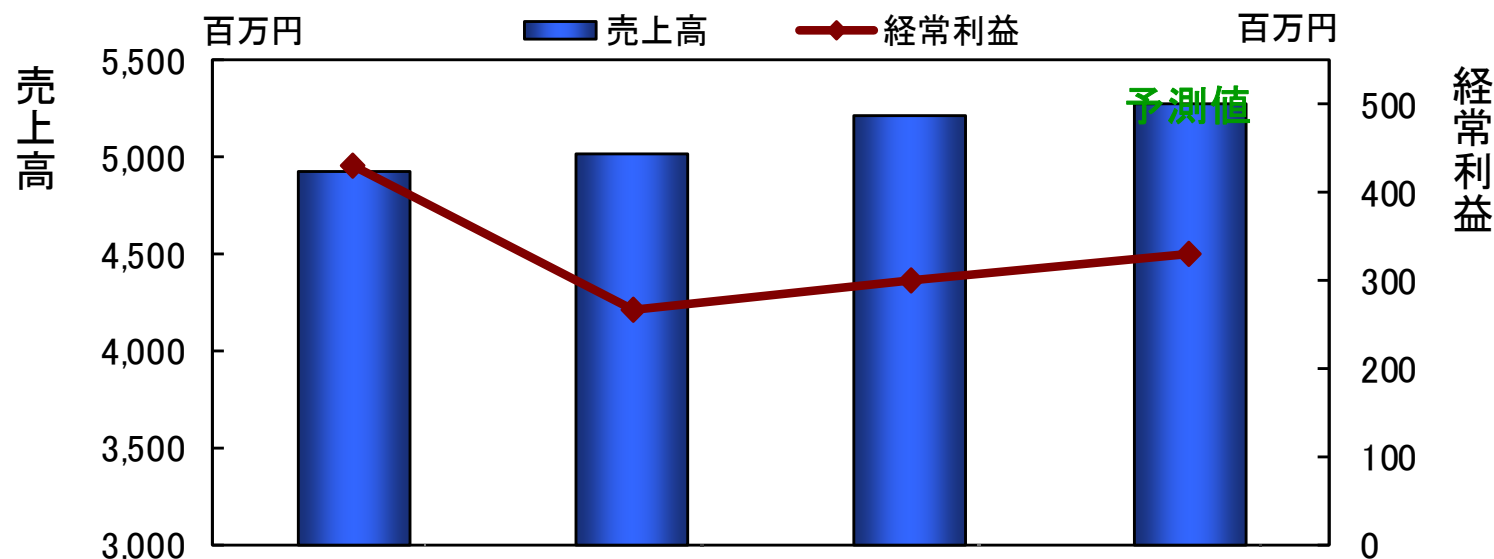
今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府による経済政策や日銀による金融緩和が引き続き行われると思われ、景気も穏やかな回復を続けるものと期待されています。しかし、新興国の景気減速、資源価格の動向次第では、日本経済への影響も懸念され不透明な状況で推移するものと思われまます。
- 当社の平成29年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,284百万円(前期比1.2%増)、営業利益328百万円(同10.2%増)、経常利益330百万円(同10.0%増)及び当期純利益204百万円(同18.3%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



売上高および経常利益の見通し

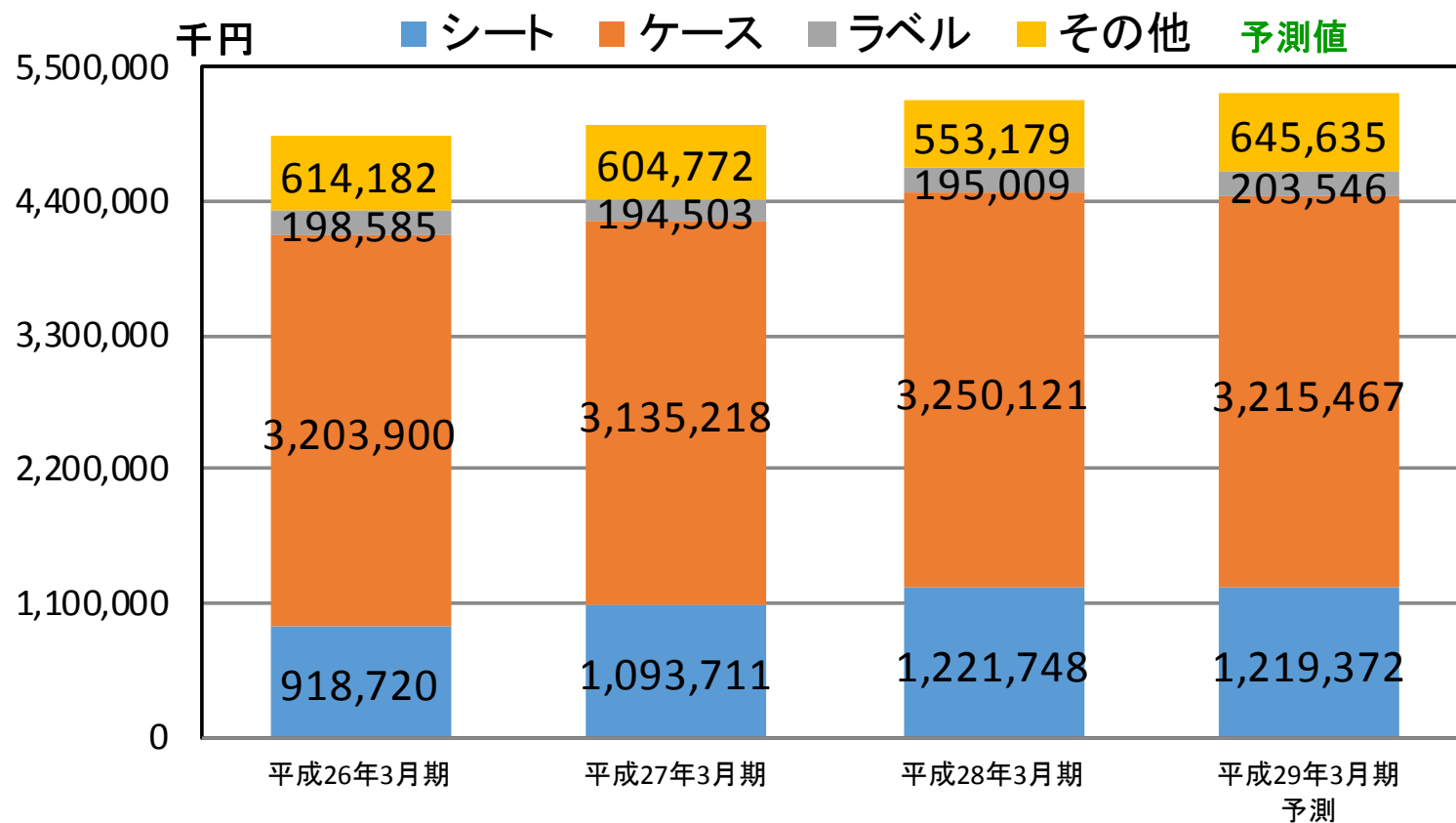
※売上高5,284百万円(前期比1.2%増)、営業利益328百万円(同10.2%増)、経常利益330百万円(同10.0%増)及び当期純利益204百万円(同18.3%増)を計画しております。



	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期 予測
売上高	4,935	5,028	5,220	5,284
経常利益	431	267	300	330



品種別売上高の見通し





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。